



ラシッサ IIXIL 可動間仕切り引戸上吊方式 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 警告



下記機器をお使いの方は操作をしないでください。
医療機器誤作動のおそれがあります。
(1) 体内埋込型機器
(2) 生命維持用機器
(3) 装着型心電計など

⚠ 注意



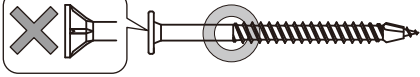
●吊車はレバーが下がるまで入れてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。



保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉不良の原因になるので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、剥がす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きは長期保管はソリ・ねじれの原因になるので、寝かせた状態にしてください。
- 損傷防止のため、本体は建築工事完了後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	吊車を枠組立て時にレールに正しい向きで入れましたか？	☐
2	枠取付け後に全ての受け金具を緩みなく正しいねじで固定しましたか？  (ソフトモーション仕様のみ)	☐
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか？	☐

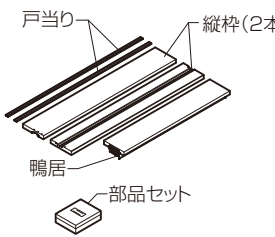
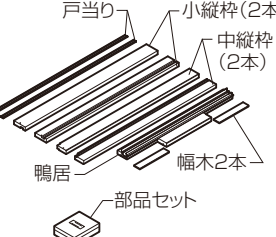


このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※1 枠はノックダウン、本体は完成品
※2 別売品

本体※1			片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用枠※1		
	片引戸	1		目隠し(片引戸3枚建のみ)	縦枠
	片引戸2枚建	2		戸当り	小縦枠
	片引戸3枚建	3		幅木	中縦枠
	引違い戸2枚建	2		部品セット	
	引違い戸3枚建	3			
	引違い戸4枚建	4			
	引分け戸	2			

引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建用枠※1	引分け戸用枠※1
 戸当り 縦枠(2本) 鴨居 部品セット	 戸当り 小縦枠(2本) 中縦枠(2本) 鴨居 幅木2本 部品セット

■枠セット明細

部材名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
鴨居	1	1	1	1	1	1	1
縦枠	1	1	1	2	2	2	—
中縦枠	1	1	1	—	—	—	2
小縦枠	1	1	1	—	—	—	2
幅木	1	1	1	—	—	—	2
戸当り	2	3	4	4	6	4	2
目隠し	—	—	1	—	—	—	—
部品セット	1	1	1	1	1	1	1

■ケーシングセット明細

部材名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
ケーシング	横(長:1、短:1) 縦:4			横:2 縦:4			横(長:1、短:1) 縦:4

埋込敷居※2	フラット下レール※2
レール 1本引き:1本 2本引き:2本 3本引き:3本 埋込敷居 部品セット	フラット下レール 部品セット

■埋め込みガイドピンセット明細

埋め込みガイドピンセット※2		
埋め込みガイドピン	本体	埋め込みガイドピンベース

部品名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
8個入セット	—	—	—	—	—	—	1
10個入セット	—	1	—	—	—	—	—
16個入セット	—	—	—	—	—	1	—
18個入セット	—	—	1	—	1	—	—

■開口部の作り方

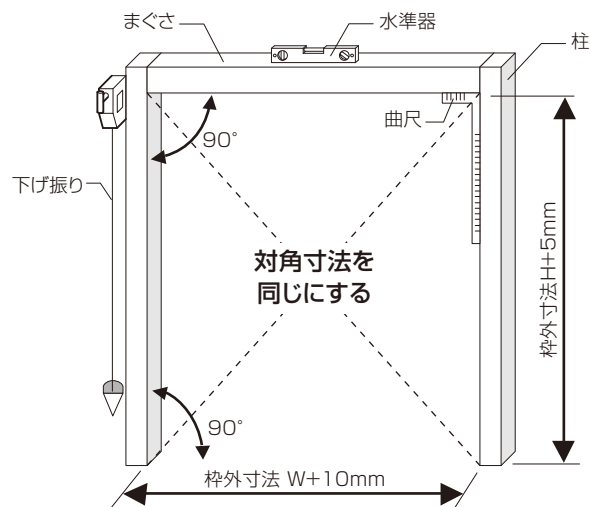
開口部の作り方上のお願

- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体の強度不足は、垂下がりの原因になるので本体40kg/枚に耐えうる強度を確保してください。
- 片引戸の小壁は枠を取付けてから施工してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- 開口は、枠外寸法に対して高さ：H+5mm、幅：W+10mmで作ってください。
- ※開口は必ず、水平垂直にしてください。



■対応壁厚について

(単位: mm)

ノンケーシング	見込み	対応壁厚
	NC95	64~75
	NC115	76~100
	NC140	101~115
	NC156	116~130
	NC171	131~145
	NC180	146~160
	NC210	170~190

ケーシング付	品種	足長さ	対応壁厚
	薄壁用	8	111~121
		14	122~133
		19	134~141
		25	142~152
	厚壁用	8	142~148
		14	149~160
		19	161~170
		25	171~182
	片引戸2枚建	8	157~167
		14	168~179
		19	180~187
		25	188~198
	片引戸3枚建	8	191~201
		14	202~213
		19	214~221
		25	222~232
	引違い戸3枚建	8	150~160
		14	161~172
		19	173~180
		25	181~191

2 床の張り方

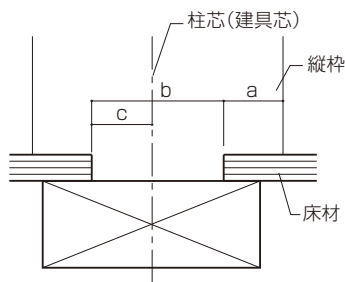
開口施工上のお願い

- 埋め込みガイドピン仕様は開閉不良となるので、以下の床には取付けしないでください。
(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)

■埋込敷居

- 床材を、下記寸法に合わせてすき間をあけて張ってください。

●片引戸

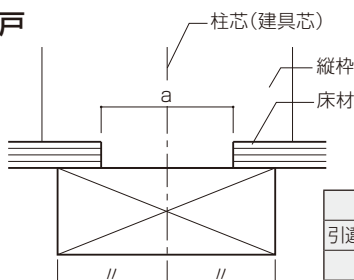


埋込敷居

(単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
片引戸 NC95	17.5	30	0
片引戸 NC115	27.5	30	0
片引戸・引分け戸 NC140	40	30	0
片引戸・引分け戸 NC156	48	30	0
片引戸・引分け戸 NC171	55.5	30	0
片引戸・引分け戸 NC180	70	30	10
片引戸2枚建 NC156	28	60	10
片引戸2枚建 NC171	43.5	60	18
片引戸2枚建 NC180	32	60	2
片引戸3枚建 NC210	22	100	17
片引戸・引分け戸ケ付薄壁	27.5	30	0
片引戸・引分け戸ケ付厚壁	51	30	10
片引戸2枚建ケ付	33.5	60	13
片引戸3枚建ケ付	27.5	100	30

●引違い戸

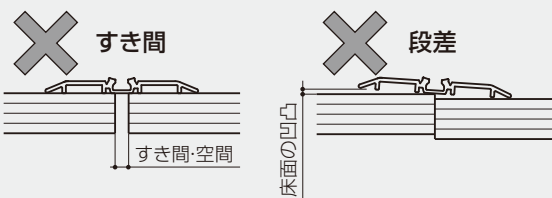
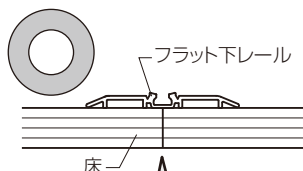


(単位:mm)

枠機種	a寸法
引違い戸・4枚建	60
3枚建	100

■ガイドピン／フラット下レール／埋め込みガイドピン

- 床材は段差なく、すき間なく張ってください。



※作動不良の原因となります。

3 枠用部品セット

枠用部品セット	片引戸	片引戸 2枚建 ・引分け戸	片引戸 3枚建
組立て用 皿小ねじM4×50	4	4	4
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50	12	18	31
縦枠取付け用 DNねじφ3.8×50	6	6	6
固定ガイドピンセット (ねじ同梱)	1	—	—
吊車	1	2	3
吊車(ソフトモーション付)	1	2	3
ソフトモーション 受け金具	2	4	6
穴埋めシールシート (NC95/115のみ)	1	—	—

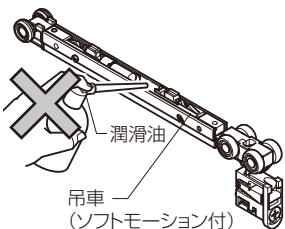
枠用部品セット	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建
組立て用 皿小ねじM4×50	4	4	4
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50	18	28	28
縦枠取付け用 DNねじφ3.8×50	6	6	6
固定ガイドピンセット (ねじ同梱)	1	—	—
吊車	2	3	4
吊車(ソフトモーション付)	2	3	4
ソフトモーション 受け金具	4	6	8
穴埋めシールシート (NC95/115のみ)	1	—	—

※接着剤、かくし釘は現場手配。

4 枠の組立て(吊車の挿入)

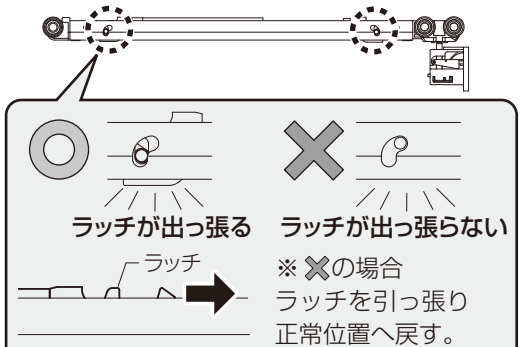
枠組立て上をお願い

- 製品脱落・枠の垂下がり・ゆがみの原因になるので同梱のねじを使用してください。
- 本体吊込みができなくなるので、枠組立て前に吊車をレールに挿入してください。
- 作動不良になるので、下記事項をお守りください。
 - ・吊車(ソフトモーション付)は、正しい向きに入れてください。
 - ・吊車に潤滑油などを塗布しないでください。

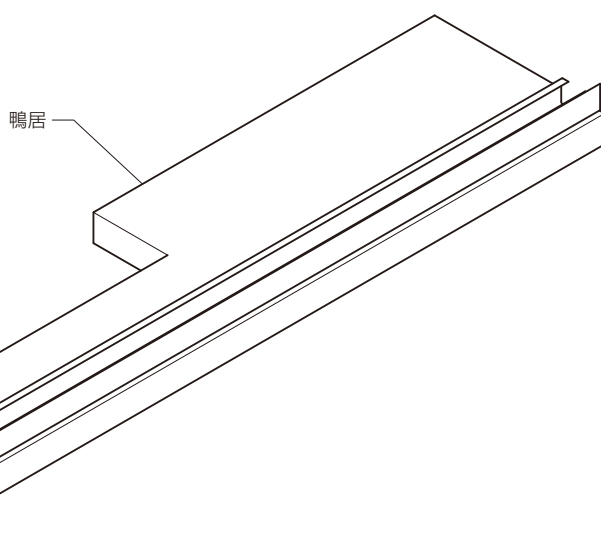


- 鴨居レールに吊車を指定の向きに挿入してください。

●吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)



※もう一方は本図と対象



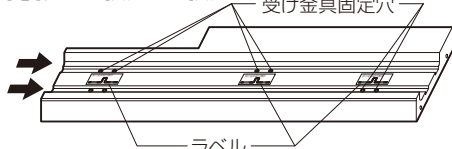
※図は片引戸L勝手

ソフトモーション仕様 吊車

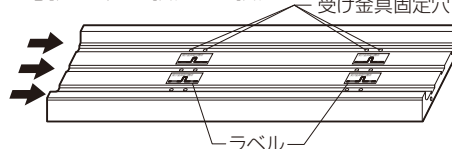
●ソフトモーション仕様 吊車挿入向き



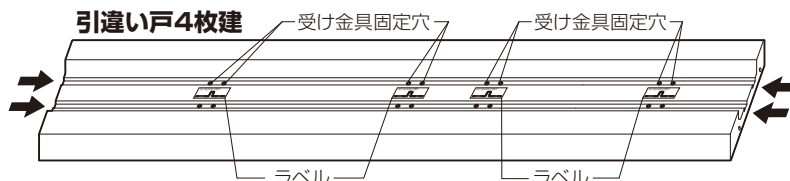
片引戸、2枚建、3枚建



引違い戸2枚建、3枚建



引違い戸4枚建



引分け戸

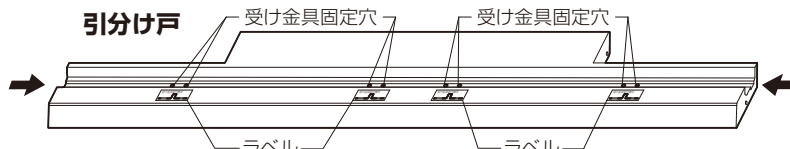
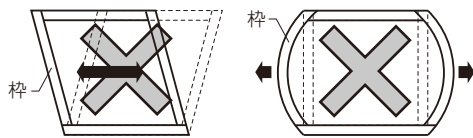


図-1 枠の組立て(片引戸・引分け戸)

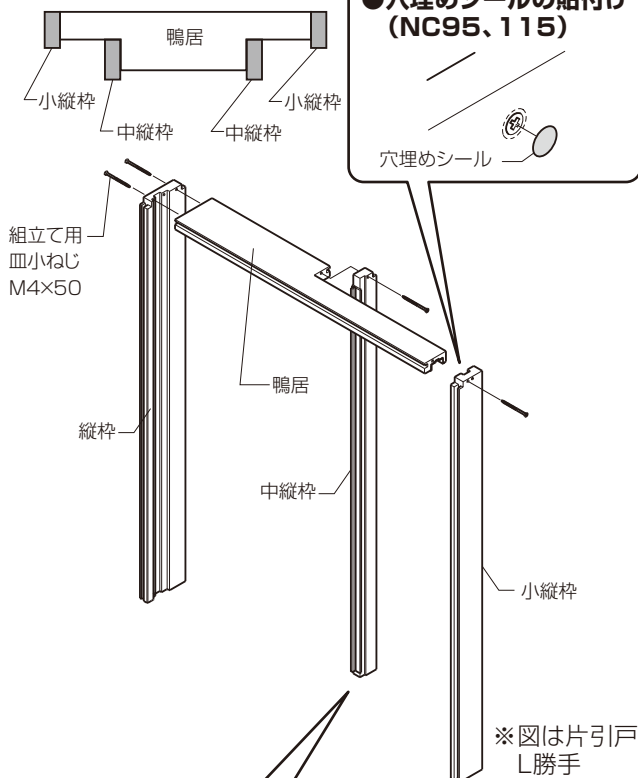
枠の組立て上のお願ひ

- 組立てねじは縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。組立て不良の原因になります。
- 枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



- 下図のように同梱のねじで枠を組立てます。
- ※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
- ※NC95、115は組立てねじ部に穴埋めシールを貼付けてください。

●引分け戸の場合



●中縦枠のモヘア

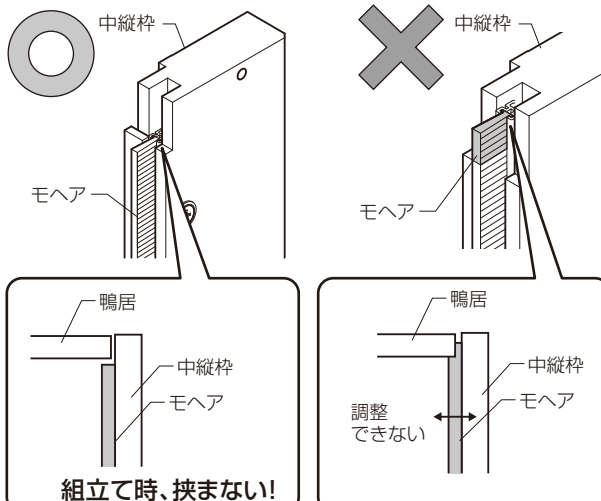
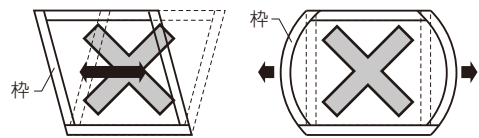


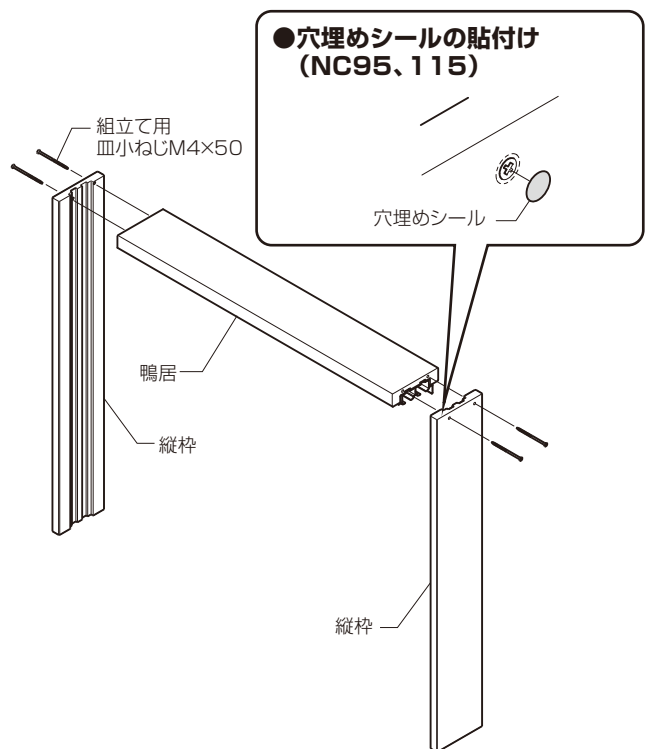
図-2 枠の組立て(引違い戸)

枠の組立て上のお願ひ

- 組立てねじは縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。組立て不良の原因になります。
- 枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



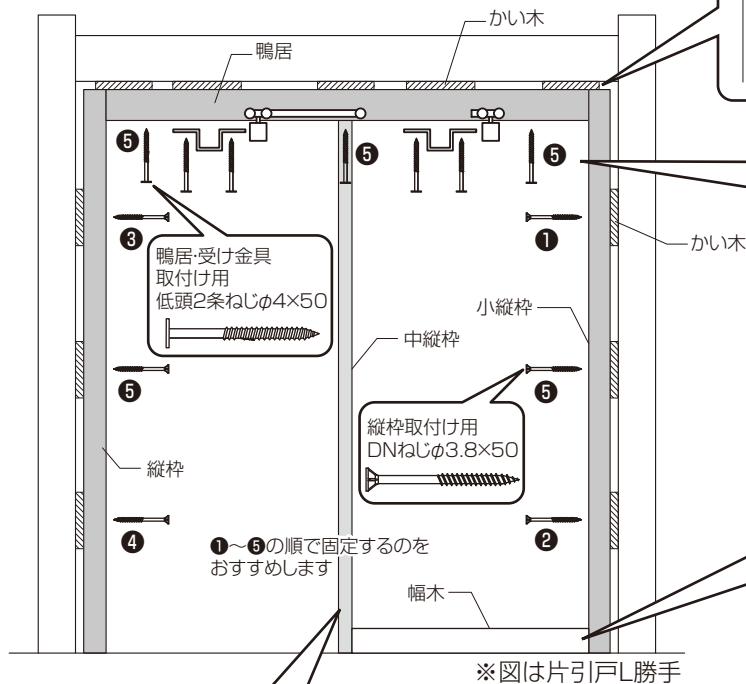
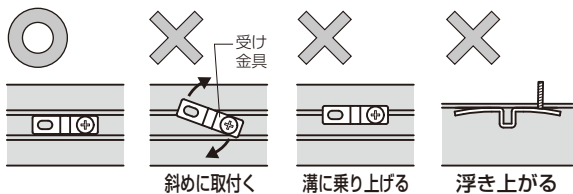
- 下図のように同梱のねじで枠を組立てます。
- ※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
- ※NC95、115は組立てねじ部に穴埋めシールを貼付けてください。



⑥ 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

- 枠の垂下がり・開閉不良の原因になるので下記事項をお守りください。
- ・ コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- ・ 同梱のねじを使用してください。
- ・ 枠は水平垂直に取付けてください。
- ・ 枠と躯体の間のかい木は表裏に接着剤(現場手配)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- ・ 鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
- ・ ソフトモーションを機能させるため、枠固定時、吊車(ソフトモーション付)は受け金具と受け金具の間に配置してください。
- ・ 受け金具は緩み防止のため、鴨居固定後に固定してください。
- ・ ソフトモーション受け金具は完全に固定されるまで、上レールにしっかりと固定してください。



① 枠と躯体の間にかい木を入れて縦枠、鴨居を指定のねじで固定します。

※ 受け金具と受け金具の間に吊車(ソフトモーション付)を配置し、受け金具を固定します。

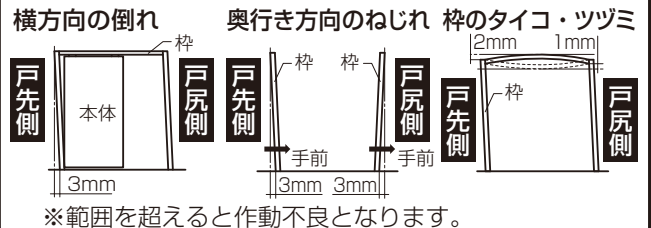
② 中縦枠に接着剤※を塗布して、かくし釘※で固定します。埋込敷居／フラット下レールの場合、中縦枠位置ラベルに合わせて中縦枠を固定してください。(部材取付けはP.8～9参照)

③ 幅木の裏面に接着剤※を全面塗布し、かくし釘※で固定してください。(約300mmピッチ)

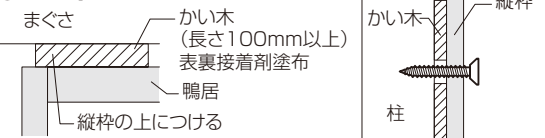
※現場手配

● 取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

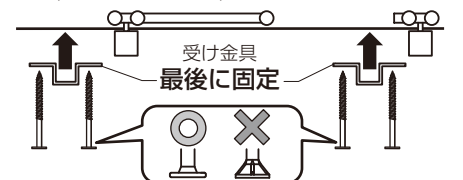


① かい木について

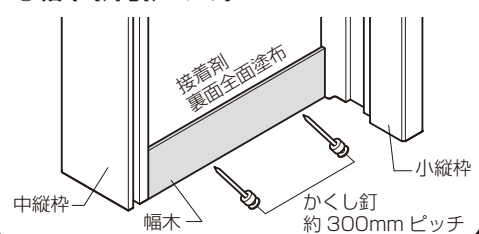


① ※ 鴨居の部品固定について

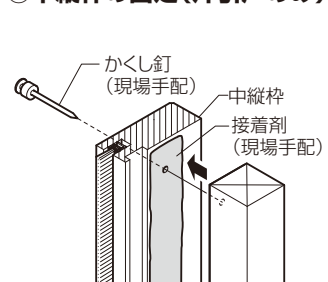
吊車(ソフトモーション付)は受け金具と受け金具の間に



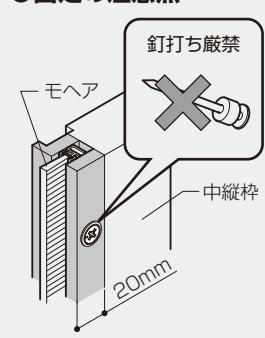
③ 幅木(片引戸のみ)



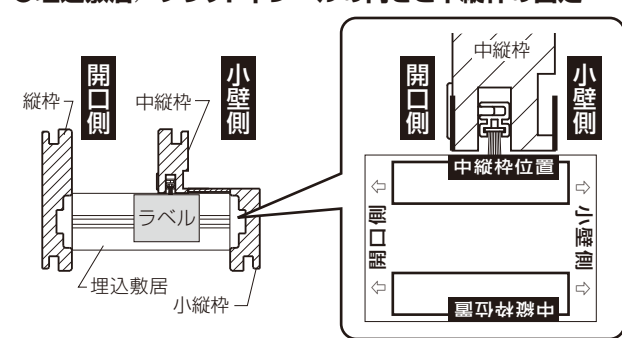
② 中縦枠の固定(片引戸のみ)



● 固定の注意点

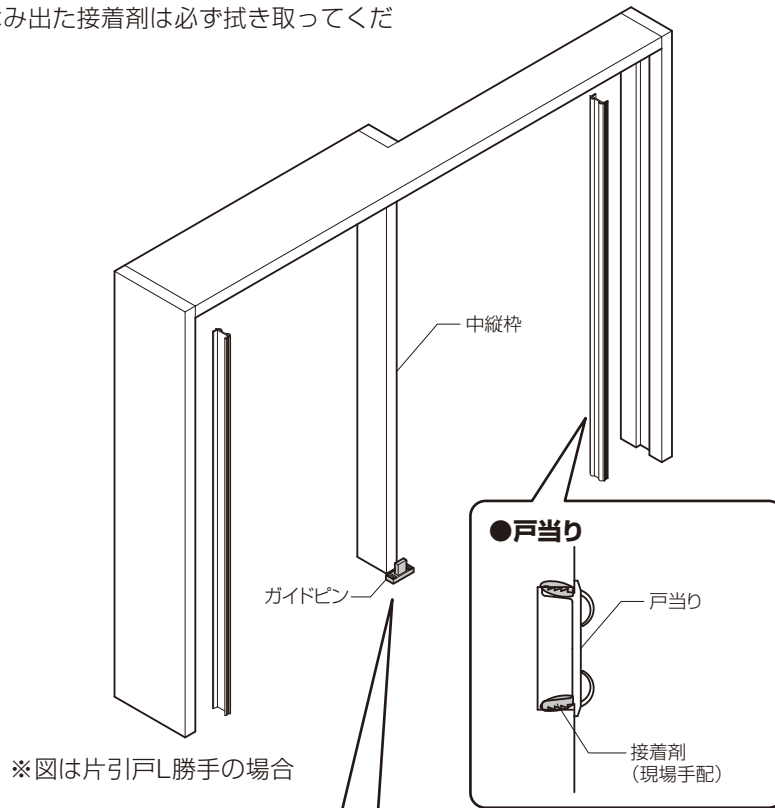


● 埋込敷居／フラット下レールの向きと中縦枠の固定



7-1 床部の施工(ガイドピン)

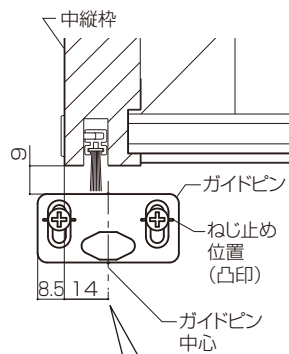
- ①ガイドピンを床の指定の位置に固定します。
- ②枠の寸法を実測し、戸当りを切断します。
- ③戸当りの足に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、枠に取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)



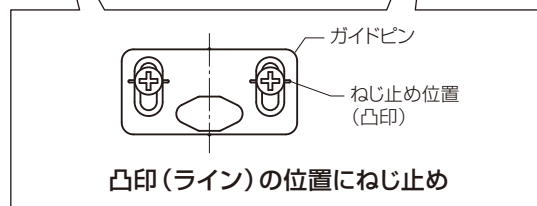
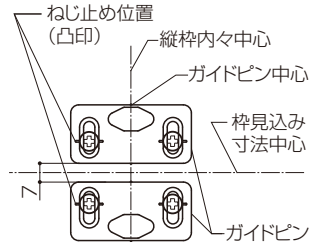
●ガイドピン固定位置

片引戸(L勝手)

R勝手は本図と対称



引違い戸



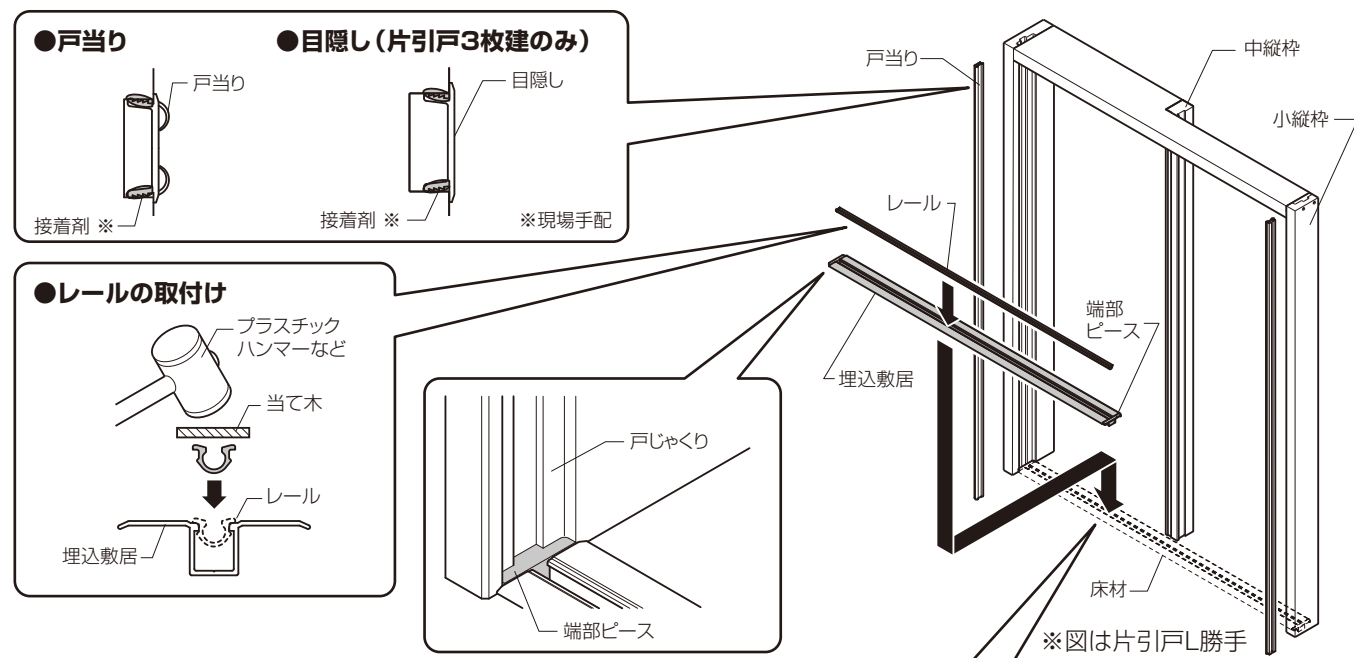
※中縦枠取付け用ガイドピンを使用する場合は、中縦枠ガイドピンセットに同梱の取付け説明を参照ください。

7-2 床部の施工(埋込敷居)

- ①戸じゃくりにピースを合わせて敷居を配置し、固定します。
※片引戸の場合：レールの向きはラベルの表示に合わせる
- ②片引戸の場合、ラベルの「中縦枠位置」に合わせて中縦枠を固定します。
- ③下レールに当て木をあててプラスチックハンマーなどでたたき込んでください。
- ④枠の寸法を実測し、戸当りを切断します。
- ⑤戸当りの足に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、枠に取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)
- ⑥片引戸2・3枚建の場合
縦枠の戸じゃくりのない部分にVレールスペーサーを入れてください。

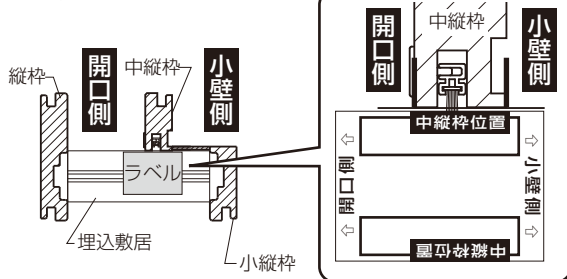
■埋込敷居 部品・部材明細

部材名称		片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
敷居		1	1	1	1	1	1	1
レール		1	2	3	2	3	2	1
敷居取付用 なべタッピンねじφ4×30		5	6	8	6	6	9	9
Vレールスペーサー		—	1	2	—	—	—	—
中縦枠スペーサー		使用しません						



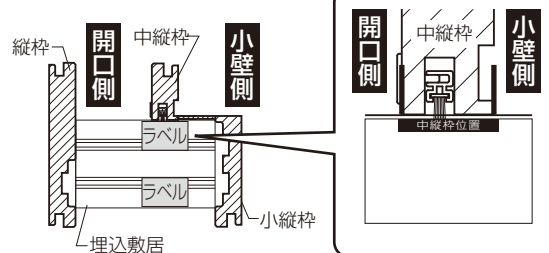
●埋込敷居の向きと中縦枠の固定

片引戸



●埋込敷居の向きと中縦枠の固定

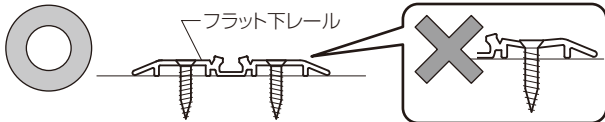
片引戸2・3枚建、引分け戸



7-3 床部の施工(フラット下レール)

フラット下レール施工上のお願い

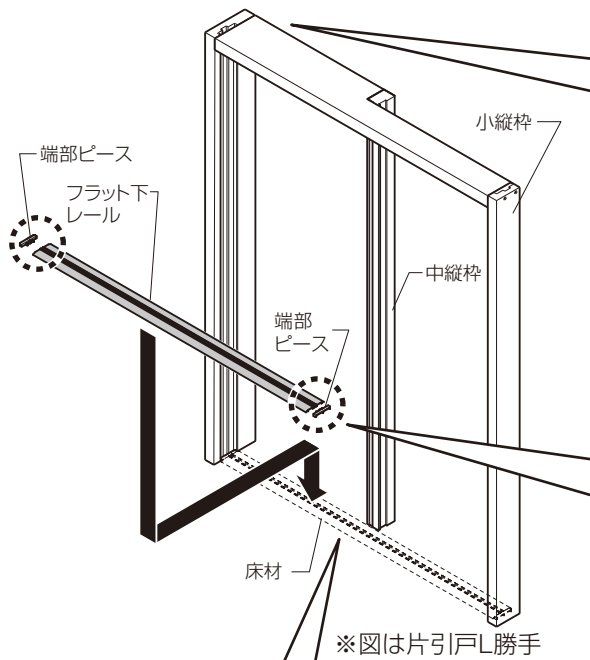
- 開閉不良になるので、固定ねじを締めすぎないでください。



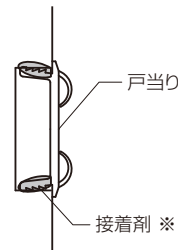
- ①端部ピースをフラット下レールの端部に差込みます。
- ②戸じゃくりにピースを合わせて敷居を配置し、固定します。
※片引戸の場合：レールの向きはラベルの表示に合わせる
- ③片引戸の場合、ラベルの「中縦枠位置」に合わせて中縦枠を固定します。
- ④枠の寸法を実測し、戸当りを切断します。
- ⑤戸当りの足に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、枠に取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

■フラット下レール 部品・部材明細

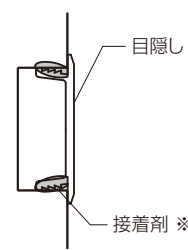
部材名称		片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
フラット下レール		1	1	1	1	1	1	1
フラット下レール取付け用 頭塗装皿タッピンねじφ4×18		14	18	24	14	18	24	24
フラット下レール 1本引き用端部ピース		2	1	1	—	—	—	2
フラット下レール 2本引き用端部ピース		—	1	—	2	—	2	—
フラット下レール 3本引き用端部ピース		—	—	1	—	2	—	—
中縦枠スペーサー		使用しません			—	—	—	使用しません



●戸当り

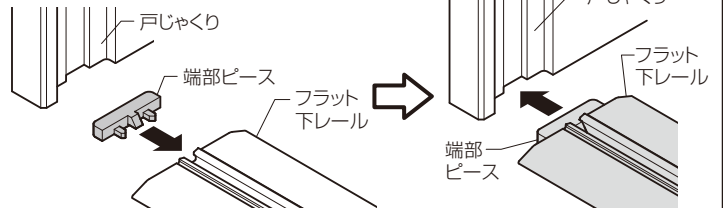


●目隠し(片引戸3枚建のみ)

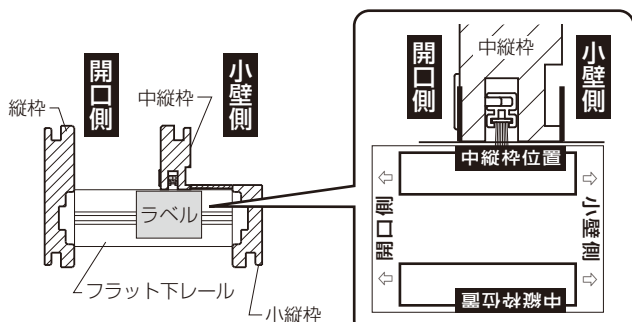


※現場手配

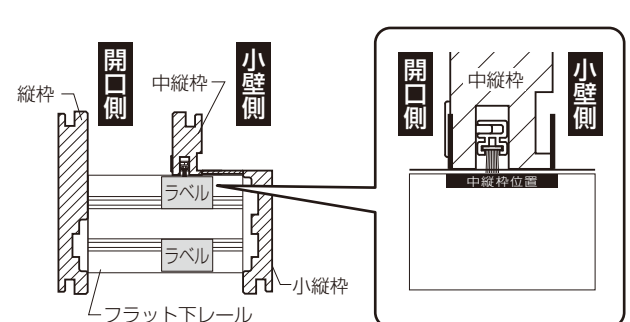
●端部ピースとレールの取付け



●フラット下レールの向きと中縦枠の固定 片引戸



●フラット下レールの向きと中縦枠の固定 片引戸2・3枚建、引分け戸

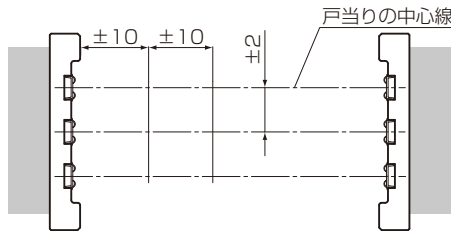


7-4 床部の施工(埋め込みガイドピン)

※片引戸および引違い戸2枚建は取付けません

埋め込みガイドピン施工上のお願い

- 開閉不良となるので、下記事項をお守りください。
 - ・以下の床には取付けしないでください。
(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)
 - ・埋め込みガイドピン用の穴は垂直に加工し、穴の中のバリ、切粉は取除いてください。
- 開閉時に本体がガイドピンから外れるので、()内の施工精度守ってください。
(開閉方向：±10mm以下、面方向：±2mm以下)



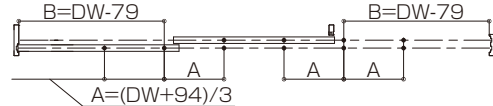
- 埋め込みガイドピンベースの取付けは、直接たたかず、必ずあて木をしてください。破損するおそれがあります。

●埋め込みガイドピン配置図

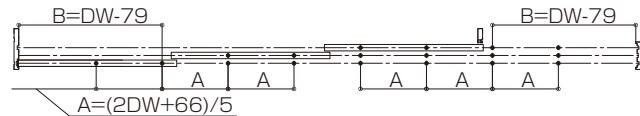
(単位：mm)

名称	DW (規格)	A		B	
		規格	特注寸法	規格	特注寸法
片引戸2枚建	816	303	$(DW+94)/3$	737	$DW-79$
片引戸3枚建	816	339	$(2DW+66)/5$	737	$DW-79$
引違い戸3枚建	816	303	$(DW+94)/3$	737	$DW-79$
引違い戸4枚建	816	303	$(DW+94)/3$	737	$DW-79$
引分け戸	816	303	$(DW+94)/3$	737	$DW-79$

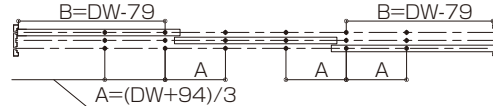
片引戸 2枚建



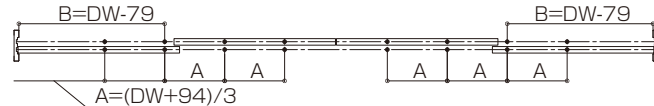
片引戸 3枚建



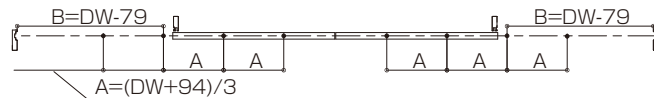
引違い戸 3枚建



引違い戸 4枚建



引分け戸



①埋め込みガイドピン配置図を参考に床に穴あけの位置出しをします。

②位置出し部にφ22mm×深さ12mmの穴をあけます。

※お願いに記載の施工精度を守ってください。

③埋め込みガイドピンベースの溝を開閉方向に合わせ、加工穴にはめ込みます。

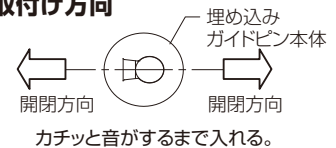
④埋め込みガイドピン本体を下図の向きにカチッと音がするまで入れてください。

※本体の吊込み後に位置調整を行います。

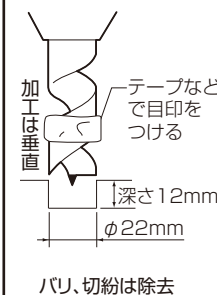
■埋め込みガイドピンセット明細

埋め込みガイドピンセット							
埋め込みガイドピン本体		埋め込みガイドピンベース					
部材名称	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
埋め込み ガイドピンセット	—	10	18	—	18	16	8

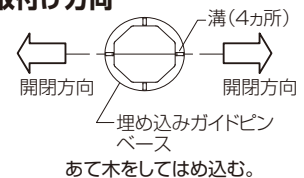
④埋め込みガイドピン本体 取付け方向



②加工穴について



③埋め込みガイドピンベース 取付け方向

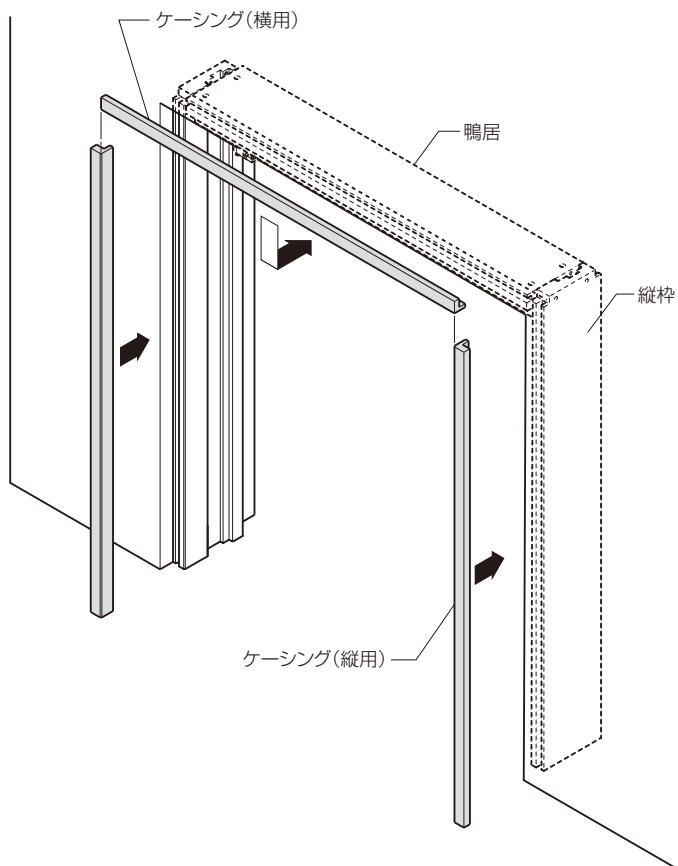


8 ケーシングの取付け

ケーシング取付け上のお願ひ

●壁材・床材を仕上げてから取付けてください。

- ①ケーシングを現場寸法に合わせて切断します。
- ②ケーシング裏面と枠のケーシング溝に接着剤(現場手配)を塗布し、固定します。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)



9-1 本体の吊込み(フラット下レール、埋込敷居仕様)

▲ 注 意



●吊車はレバーが下がるまで入れてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。



本体吊込み上のお願ひ

●開閉不具合になるのでレールの汚れ、ゴミを取り除いてください。



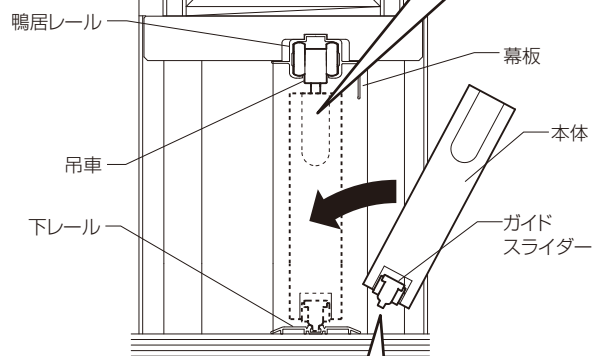
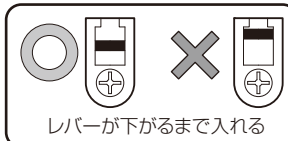
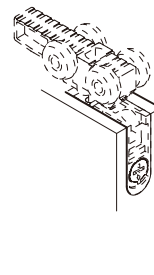
【埋込敷居の場合】

・本体下部のガイドスライダーを一旦外し、高さ調整のスペーサーを取付けてください。

●ガイドスライダーをレールにはめ、本体を持ち上げて吊車を取付けます。

※吊車はレバーが下がるまで押し込んでください。

●吊車の取付け



●埋込敷居仕様の場合

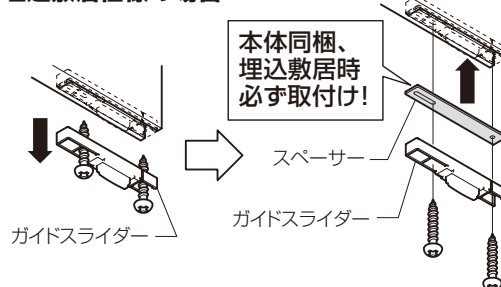


図-2 本体の吊込み(埋め込みガイドピン仕様)

▲ 注 意

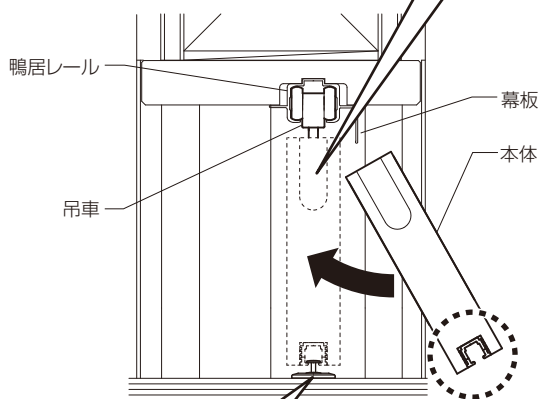
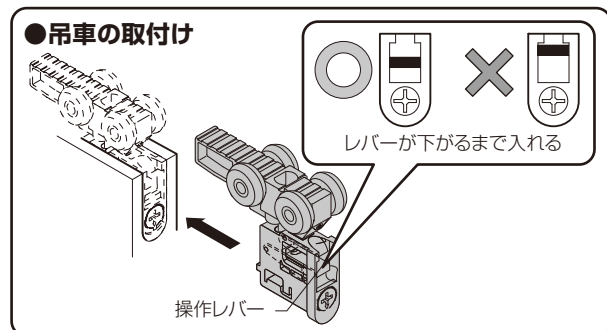


●吊車はレバーが下がるまで入れてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。



- ①本体を持ち上げて吊車を取付けます。
※レバーが下がるまで押し込んでください。
- ②埋め込みガイドピンが本体厚さの中心から±2mm以内か確認してください。
範囲を超えている場合は調整してください。
(本体P.13参照、埋め込みガイドピンP.14参照)

●吊車の取付け



●埋め込みガイドピンの位置確認

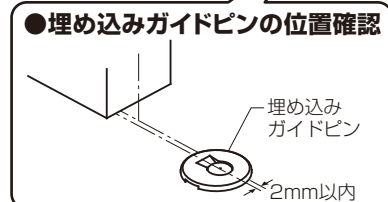
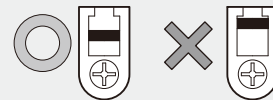


図-3 本体の吊込み(ガイドピン、床見切り仕様)

▲ 注 意

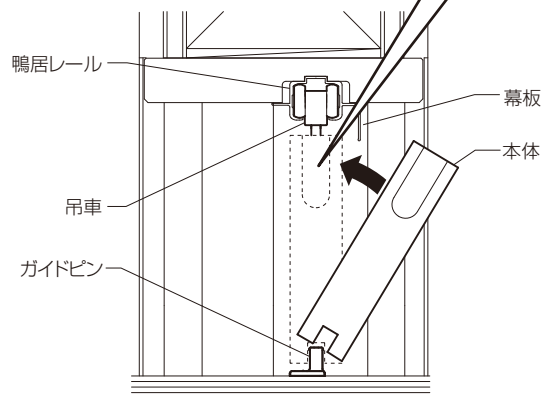
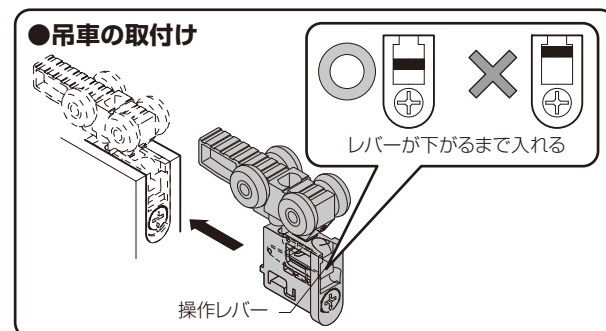


●吊車はレバーが下がるまで入れてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。



- ①本体をガイドピンにはめます。
- ②本体を持ち上げて吊車を取付けます。
※レバーが下がるまで押し込んでください。

●吊車の取付け



Ⅳ 本体への部品取付け(吊込み後)

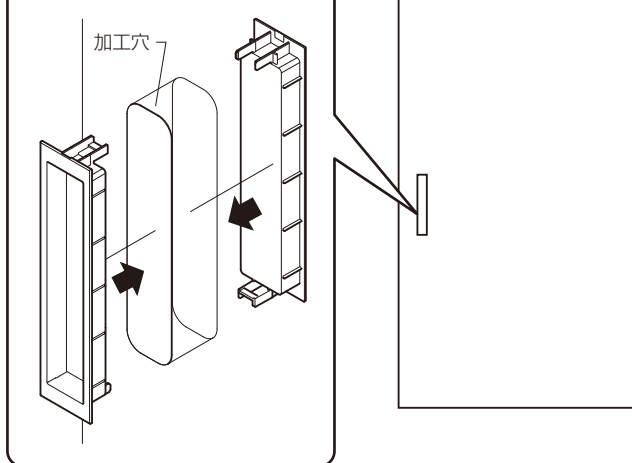
■引手の取付け

- ①仮組みされた引手を平行に引き抜いてください。
- ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■引手セット(別売り)

名称	数量
引手	2

●引手の取付け



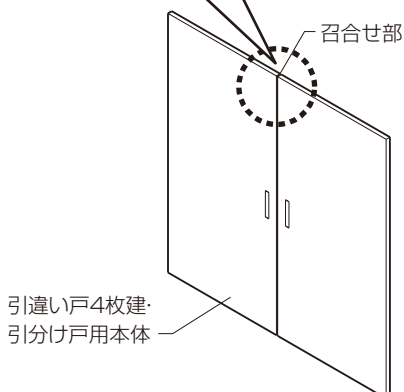
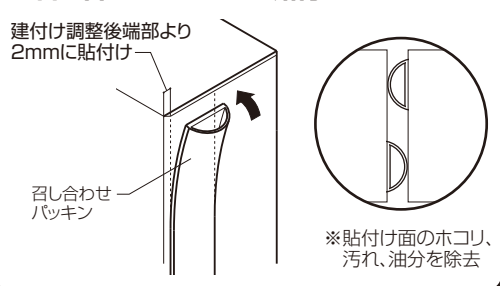
■召し合わせパッキンの貼付け(引違い戸4枚建、引分け戸の場合)

- ①必ず本体建付け調整後に作業してください。
- ②貼付け面のホコリ、汚れ、油分を取除いてください。
- ③パッキン裏面のシートをはがし、約5kg程度の力で下図のように貼付けてください。
- ④長めにしています。現場で切断してください。

■召し合わせパッキンセット(別売り)

名称	数量
召し合わせパッキン	2本

●召し合わせパッキンの貼付け



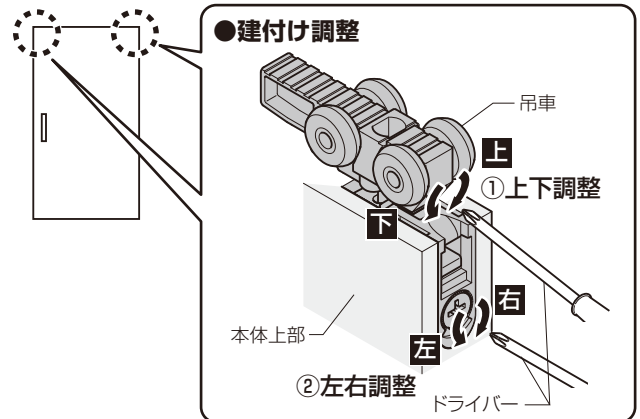
Ⅴ 本体側の調整について

本体側の調整上のごお願い

- 本体下部のはずれや、こすれの原因となるので上下調整は範囲内で行ってください。(本体と床のすき間：7～12mm)

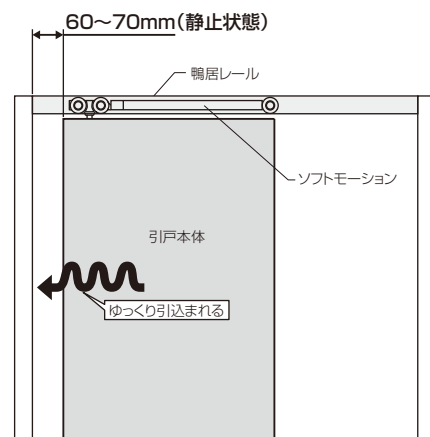
●建付け調整について

- ①上下調整(+4mm、-1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ②左右調整(±2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



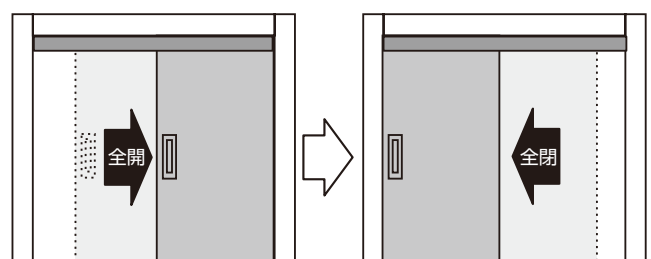
●ソフトモーションについて

- ・静止状態で枠から60～70mmで引き込みされます。
- ・開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



●ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

- ①本体を全開してください。
 - ②本体を全閉してください。
 - ③復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



12 枠側の調整について

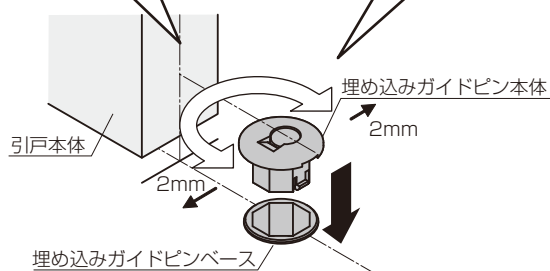
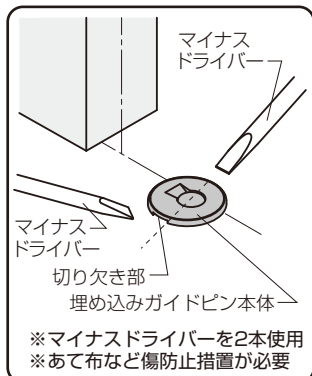
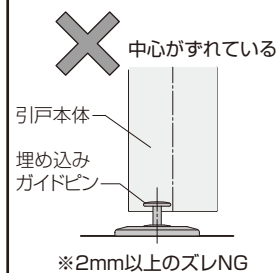
埋め込みガイドピン調整時のお願い

- 床が損傷するので、作業前にあて布などの損傷防止措置を行ってください。
- 埋め込みガイドピンが破損するので、必ずマイナスドライバー2本で外してください。
- 開閉時埋め込みガイドピンから本体が外れるので、本体厚さ中心からのズレは±2mm以内に調整してください。
- 作動不良になるので、ガイドピン本体内のゴミは必ず削除してください。

●埋め込みガイドピンの調整(調整幅±2mm)

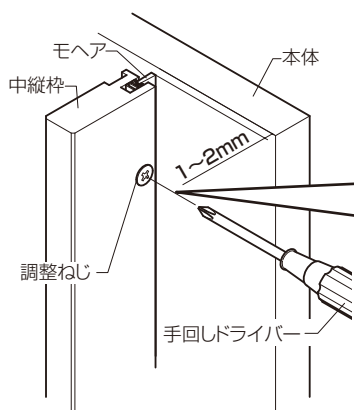
- ①埋め込みガイドピン本体にある切り欠きにそれぞれマイナスドライバーを入れて埋め込みガイドピン本体を外してください。
- ②埋め込みガイドピン本体を回して、引戸本体厚さの中心とのズレを2mm以内にします。
※引戸本体を静止させて調整してください。
- ③調整が完了したら、カチッと音がするまで埋め込みガイドピン本体をはめ込んでください。

●埋め込みガイドピンの許容範囲

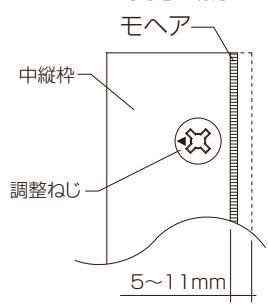


●中縦枠のモヘア出寸法調整(5mm⇔11mm)

- ・3カ所の調整ねじを回すことで、モヘアの出寸法を調整することができます。
- ・本体の開閉が重くなるので、1~2mmのクリアランスを持たせてください。



●モヘアの出寸法調整

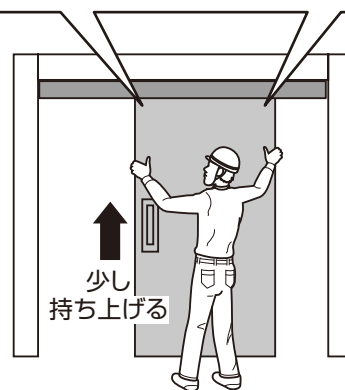
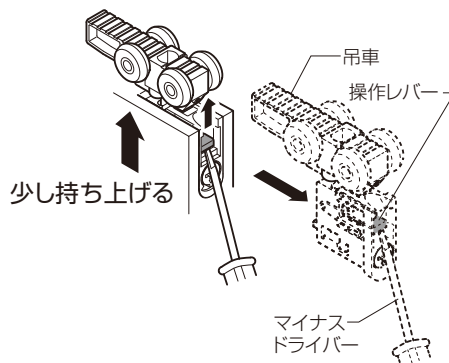


13 本体・引手の取外し方法

●本体の取外し方法

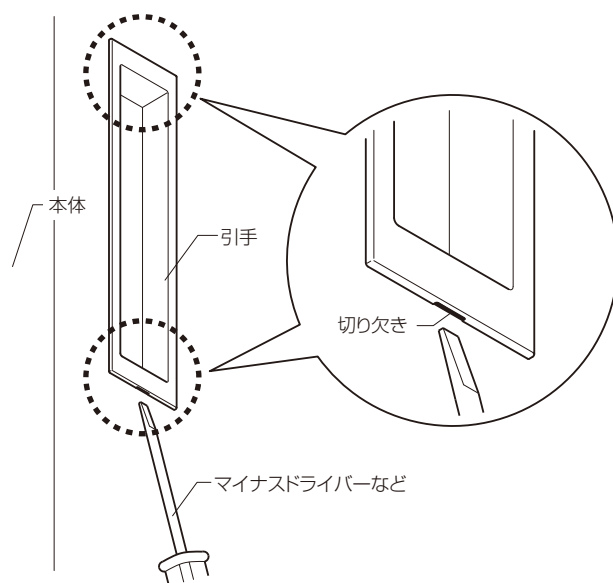
- ①本体を少し持ち上げて吊車に荷重をかからないようにしてください。
- ②操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら引き抜いてください。

●吊車の取外し方法



●引手の取外し方法

マイナスドライバーなどを切り欠きに入れて外してください。



■困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、
メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。

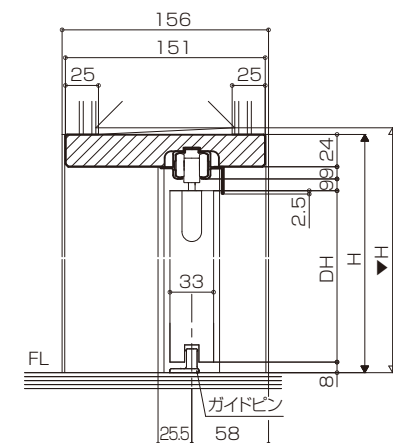


■納まり図

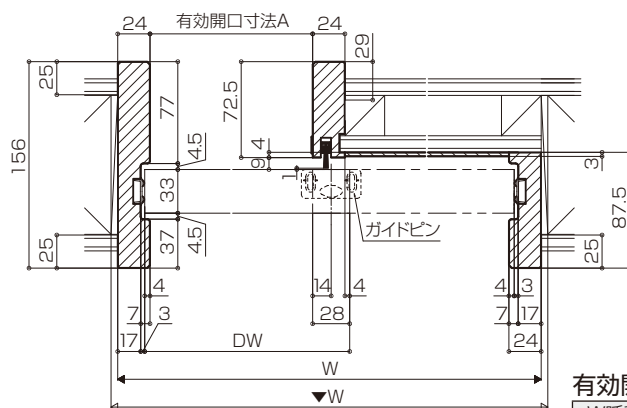
■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図

●横断面図



・ガイドピン使用



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W16(1644)	784

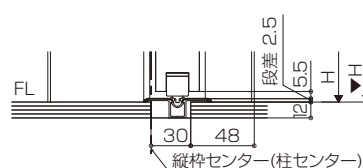
H呼称(枠外寸法)
H20(2023)
H23(2306)

算出式: $A \text{ 寸法} = (W - 76) / 2$

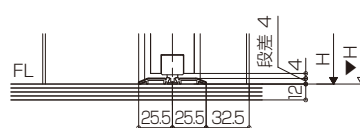
$DW = (W - 12) / 2$

両側バーハンドル取付け時

算出式: $A \text{ 寸法} = (W - 76) / 2 - 92$



・埋込敷居使用



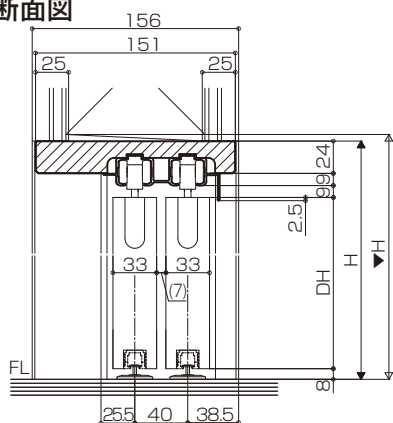
・フラットレール使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、ガイドピンは使用しません。

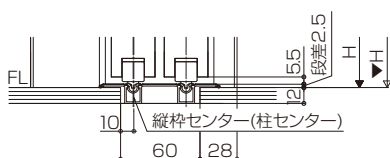
※表は規格サイズ本体(DW816)を使用した場合の寸法です。
DWが規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸2枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



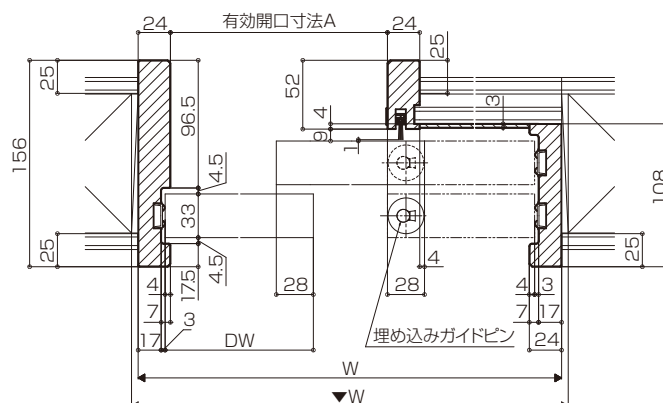
・埋め込みガイドピン使用



• 埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋め込みガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法

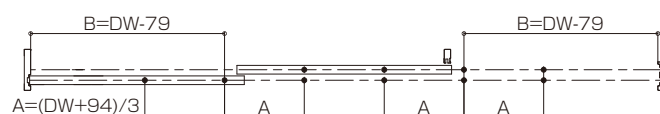
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W24(2432)	1572

H呼称(桦外寸法)
H20(2023)
H23(2306)

算出式：A 寸法 $= (2W - 148) / 3$
DW $= (W + 16) / 3$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

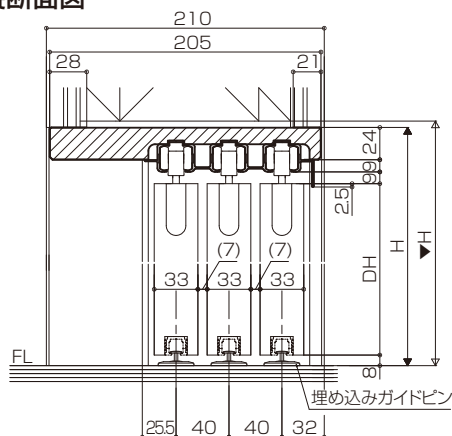
●埋め込みガイドピン配置図



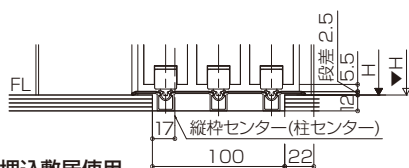
名称	DW	A	B
片引戸2枚建	816	303	737

■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸3枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



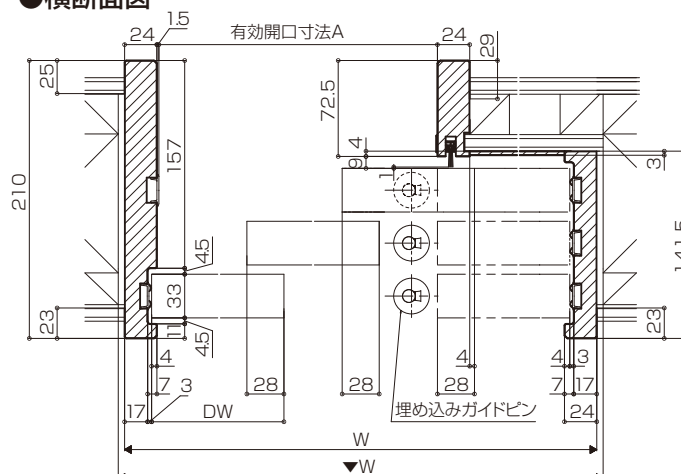
・埋め込みガイドピン使用



・埋込数居使用

※埋込数居、フラットレール使用の場合、埋め込みガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法

W呼称(杵外寸法)	A寸法
W32(3220)	2358.5

H呼称(桦外寸法)
H20(2023)
H23(2306)

算出式：A 寸法 $= (3W - 226) / 4$
DW $= (W + 44) / 4$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

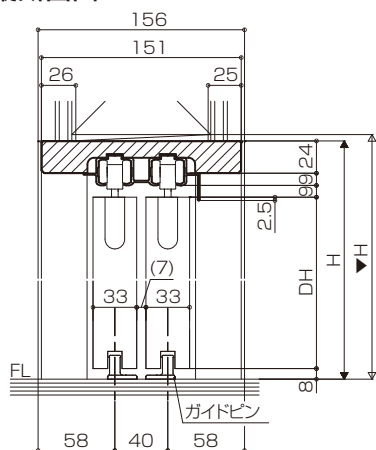
●埋め込みガイドピン配置図



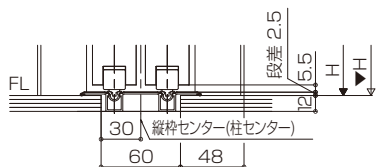
名称	DW	A	B
片引戸3枚建	816	339	737

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸2枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



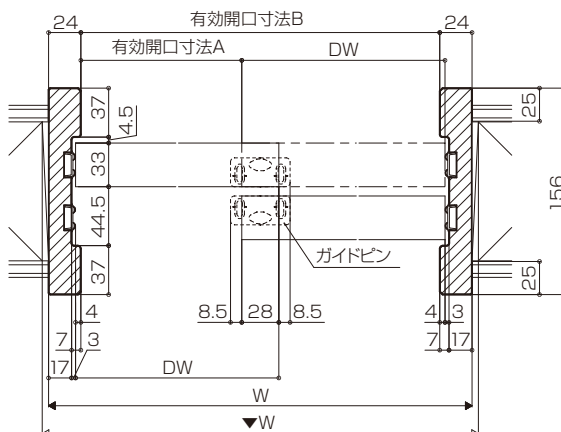
・ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、ガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	784	1596

H呼称(枠外寸法)
H20(2023)
H23(2306)

算出式: A 寸法 = (W-76)/2

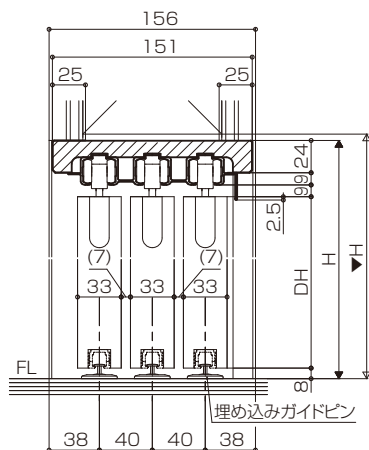
B 寸法 = W-48

DW = (W-12)/2

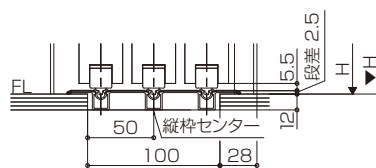
※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸3枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



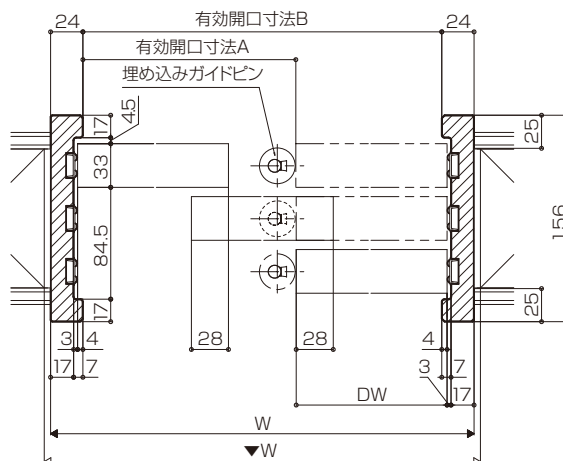
・埋め込みガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋め込みガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W24(2432)	1572	2384

H呼称(枠外寸法)
H20(2023)
H23(2306)

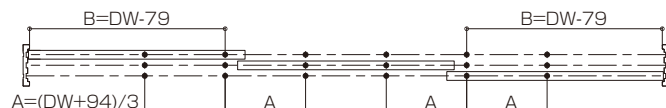
算出式: A 寸法 = (2W-148)/3

B 寸法 = W-48

DW = (W + 16)/3

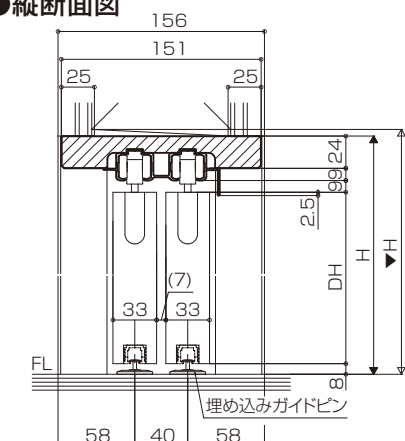
※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

●埋め込みガイドピン配置図

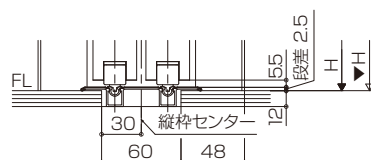


名称	DW	A	B
引違い戸3枚建	816	303	737

●縦断面図



・埋め込みガイドピン使用



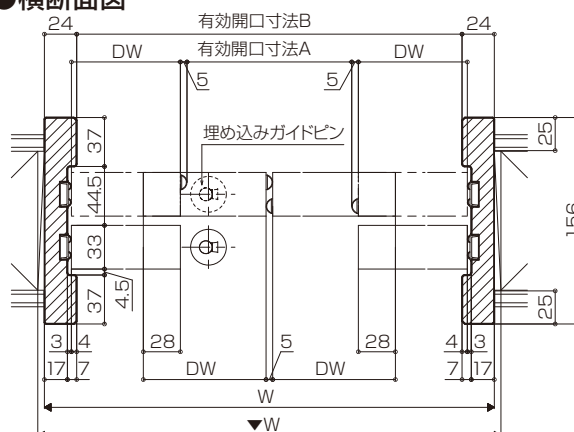
・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋め込みガイドピンは使用しません。

●埋め込みガイドピン配置図



●横断面図



有効開口寸法

W呼称(棒外寸法)	A寸法	B寸法
W32(3253)	1571	3205

H呼称(桦外寸法)
H20(2023)
H23(2306)

算出式：A 寸法 $= (W - 111) / 2$

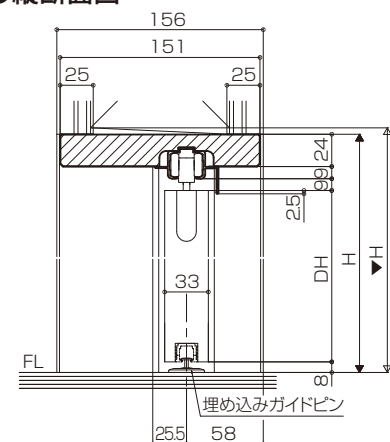
B 寸法 = $W - 48$

$$DW = (W + 11) / 4$$

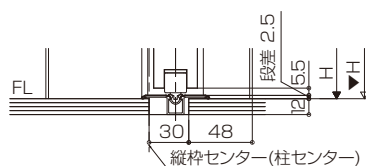
※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

名称	DW	A	B
引違い戸4枚建	816	303	737

●縦断面図



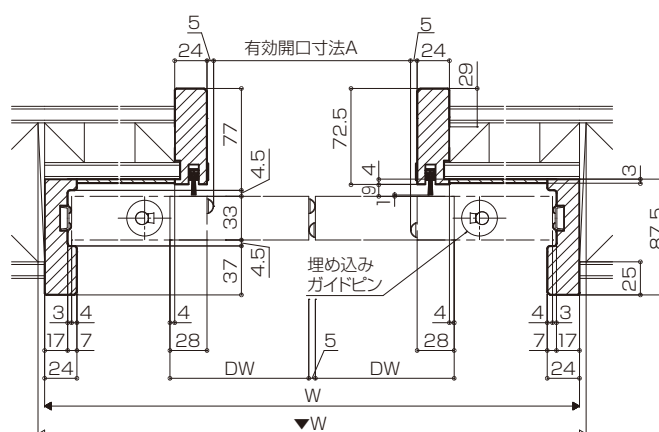
・埋め込みガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋め込みガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法

W呼称(棒外寸法)	A寸法
W32(3253)	1571

H呼称(棒外寸法)
H20(2023)
H23(2306)

算出式：A 寸法=(W-111)/2

$$DW=(W+11)/4$$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

名称	DW	A	B
引分戸	816	303	737

MEMO

MEMO
